

# 保育園だより 100号 2019年 6月3日

## せたがや小鳥の森保育園

### 理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、  
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての  
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

### めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し  
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

### 保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

かあさんと ふたりだけで

まど みちお

かあさんと ふたりだけで おはなしすれば

ことばの きしやが

しゅっぽっぽっぽ

おもしろそうに でていくよ

わたしの くちから

かあさんの みみへ

かあさんと ふたりだけで おはなしすれば

へんじの きしやが

しゅっぽっぽっぽ

おもしろそうに でてくるよ

かあさんの くちから

わたしの みみへ



川崎市の登戸駅近くの路上でスクールバスを待っていた児童17人（保護者2人）が51才の加害者に刺された事件が報道されました。衝撃的な突然の出来事で胸が痛みました。もし、自分の子どもだったら…もし、園児だったらと想像したり、その後のご家族の人生を考えると言いようのない悲しみに襲われ暗い気持ちになります。

この間の大阪での自動車事故や千葉の散歩中の公園へ車が突っ込んできた事故など子どもを巻き込んだ事件や事故が相次いでいます。これらの突発的な出来事は防ぎようのないことであったかもしれませんが、命を預かっている保育園として、今私たちにできることは何かを早急に考えなければならないと思いました。そこで先日の職員会議の内容を急遽変更し園庭、散歩の経路、公園内での危険な所やルールなどを再確認する時間にしました。また本日、幼児さんを対象に警察の方に来てもらい交通指導をしていただきました。この取り組みも自ら身を守ることに繋がる経験になると考えてのことです。保護者の方も危険な所や安全面で気になることがありましたら声を掛けてください。「命があってこそ、日常がある」あたりまえことですが、そのあたりまえの日々がずっと続くことを今は祈るのみです。

園長 岡本 友子

## 6月の予定

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 交通ルールのお話し ※	4	5	6 眼科検診 9:30~	7 ひよこ懇談会	8	9
10	11 加藤先生のわ らべうた	12	13 健康診断 耳鼻科健診 14:30~	14 フォーライフ桃郷 訪問※	15	16
17	18	19 身体測定	20 歯科検診 9:30~	21	22	23
24	25 産前産後体験 保育	26 リサイクル環境学習※ 体験保育	27 健康診断※	28 幼児誕生会	29	30

- 3日(月) ※幼児 警察の方が来て交通ルールの体験学習をします。
- 14日(金) ※4、5才児 フォーライフ桃郷を訪問して一緒にパントマイムのショーを鑑賞します。
- 26日(水) ※幼児 世田谷区のリサイクル車が来てゴミ収集体験をします  
(雨天の場合体験は中止し、世田谷区の職員のお話のみになります)

\* 当日、カメラマンの写真撮影が入ります。乳児も日常写真を撮ります。

※幼児 下旬にじゃがいも掘りがあります。日程が決まり次第お知らせします。

27日(木) ※健康診断(プール前健診なので全員受けてください)

\* 各種健診の日にお休みの場合は個人で受けていただきます

のでご了承ください。



今日の交通ルールのお話しの様子です。みんな、警察の方の質問に積極的に答えていました。



## すくすくメッセ烏山

6月15日(土) 粕谷区民センター10:30~14:00

烏山地域の子育て情報をもっと子育て中の人にとってほしい! 活用してほしい!という願いから関係者団体が集まり協力しています。

毎年とても混雑するほど、人気のイベントです。

今年は「あの子も この子も みんなの子  
まあるくつながる子育ての輪」  
をテーマにして開催します。

※入場無料です



### ある日のエピソードより

「ふとした疑問から・・・」

ある日、たかのNちゃんから「保育園はなんでジュースが出ないの?」と質問されました。

「うーん、そうだねえ・・・お茶とか牛乳は出るけどね」と話していると、他の子から「そうだよ!僕はぶどうジュースが飲みたいな」「僕はリンゴジュース!」「ミカンもあるよね」「え〜、オレンジジュースでしょ」・・・などなど話が発展。そこで「じゃあ、ジュースってどうやって作るか知ってる?」と子どもたちに逆質問してみると、案外知らない様子。「リンゴジュースだったらね、リンゴの皮をむいて、すりおろして、絞るとジュースができるんだよ」と話すと、「知ってる知ってる!」と言う子と、「そうなんだ〜」と言う子がいました。「飲んでみたい!」との声も多く上がったので、じゃあみんなで作って、味見してみようか!ということになり、調理に相談し、先週さっそく実践してみました。

おやつ時間に、「リンゴジュース作るよ〜!」と声を掛けると、すずめ・かもめ・たかの見たい子が集まり、調理の恵未さんにも手伝ってもらってリンゴをおろすところからやってみました。たかのやってみたく子に、すりおろしをやってもらいましたが1/4サイズのリンゴを、丁寧にすっていました。次にすりおろしたものを布の袋に入れて絞りますが、ここはたかとかもめに手伝ってもらいました。

「ぎゅってしぼると、たくさんジュースがでるね!」「なんだかだんだん色が茶色になってきたよ・・・」など、口々に感想を言いながら作り終え、おやつと一緒に飲んでみました。見た目が黄色→茶色に変わっていて、一見するとちょっとマズそう・・・(笑)でも自分たちで作ったから、飲んでみたい・・・そんな様子でしたが、コップ半分くらいずつ注いだリンゴジュースに、こわごわ口を付けてみると・・・みんなの顔が「!」となり、「おいしい!」「あま〜い!」「買ったのよりおいしい」という感想が聞かれました。ちょっと味見してみたらおいしくて、ごくごく飲んでしまっって「おかわり!」なんて言う子もいましたが、今日はここまで、おかわりはないんだ〜と言うと、がっかりする子どもたちでした。「またやりたいね!」「こんどは何のジュースにしようか?」「野菜が入っているジュースもあるよね!」「それは体にいいんだよね」なんていう意見も。たかの子たちはすぐにまた作戦会議をしていました。大人発信でも楽しめることはあるけれど、子ども発信の自由な発想で、やれる方法を相談・模索し、達成できた時は大人が与えた以上に感じて、獲得するものがあるなど実感します。自分たちには考える力、それを実践する力があるのだと。今回のジュース作り、さらに子どもたちと相談しながら進めていきたいと思っていますが、市販の物との違いを知ったり、食育の一環で役立てることができればと考えています。





4月に入園して、あっという間に2ヶ月が過ぎました。

お父さん・お母さんと離れて過ごす初めての経験に大泣きだった子どもたち。

慣れない保育室・初めて見るおもちゃ・知らない大人に毎日少しずつ受け入れ慣れてきてくれました。

今では、すっかり笑顔でバイバイと手を振って入室できるようになりました。

この2ヶ月での子どもたちの成長には驚かされる毎日です。

ひとり歩きや伝い歩き・四つ這い・ずり這いと一人ひとり確実にできることがどんどん増えています。部屋中を移動しながら「これは何だろう?」「不思議だな」と探索する姿も多く見られるようになりました。

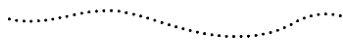
今日は最近見られた子どもたちの姿を紹介したいと思います。

午後の食事がおわり、ゆったりと落ち着いた時間、子どもたちはそれぞれ自由に遊べるようになり伝え歩きやずり這いで部屋中を動き回ったり、遊具の棚から玩具を全部出す!ことに集中したりと自由な時間を過ごしていました。そんな時K君が保育士の顔を見て片足を上げて床をドスンドスンと踏んで見せました。保育士が

「お!どすこい!どすこい!だね」と言うと、きゃっきゃと笑いました、ドスンドスンと繰り返します。保育士とK君のやりとりを周りの子は『何事だ?』と遊びを止めて見ていました。

次第に他の子も笑顔になり一緒に足を上げようとする仕草をしたり、膝を屈伸したり、パチパチと手をたたいたり、何気ない一つの動きがクラス全体に広がり、みんなで「まねっこ遊び=模倣遊び」へと発展しました。

わらべうたに合わせてカップを2つかちかちと打ち合わせると、すぐに真似をして一緒にかちかち!子どもたち同士で目を合わせたり保育士と笑いあったり、楽しい発見をした子どもたちの喜びを共有し共感しながら子どもの探索活動・好奇心を支えていきたいと思っています。



## 編集後記

今回の園だよりで100号を迎えました。号数からこの園の歩んできた年月を感じさせてくれます。保護者の皆さんの様々な意見が、今ある紙面を育てていただいたと感謝しています。

理事長 森島 伸弘

